

平成 30 年度第 1 回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：平成 30 年 12 月 6 日（木）13:30～16:00

場所：松野町山村開発町民センター 1 階研修室

参加委員：井上委員、平野委員、山田委員、毛利(達)委員、須田委員、
濱田委員、岡田委員、中森委員、山崎委員、瀧本委員、谷委員、
岡委員、矢野委員、毛利(正)委員

参加職員：友岡課長、白瀧班長、土居主任（ふるさと創生課）
戎班長、上野主事（総務課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（坂本町長）

2. 委員長及び副委員長の選出

※委員長に井上六廣委員、副委員長に谷清委員を選出。

3. 協議事項

(1)新庁舎建設基本計画（案）について

※別紙のとおり。

(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略について

ア. 事務局より参考資料 6 頁の総合戦略の概要及び同資料 7 頁の資料の見方について説明し、次のとおり委員から意見が述べられた。

イ. (委員) 31 年度の目標値に比べ実績が上がっていないものもあるが、原因はあるのか。⇒(事務局) 原因はあると思うが、事業担当課ではないため、考えられる要因等を説明できないので、今後対応する。⇒(委員) 現時点では、検証というよりは目標値や実績値、事業実績やコメントをみて意見をほしいということで、具体的な検証は今後委員会に設置される部会で詳しく行うということで良いか。⇒(事務局) その予定で進めていきたい。

ウ. (委員) 企業誘致の件について、企業へ誘致のアプローチした件数、トップセールスの件数を教えてほしい。⇒(事務局) 件数は把握していないが、森の国応援団への協力依頼や県外出張の際に、企業へ訪問してアプローチを行っているほか、県と協力して企業誘致に取り組んでいるところ。

エ. (委員) 6 次産業化推進事業について、これまでの取り組みでは、講習等で良い料理を習っておわりというのが多いと感じている。せっかく習った料理を商品化できるよう 6 次産業化まで支援があれば良いと思う。⇒(事務局) 事業担当課へ意見を伝える。

オ. (委員) プロジェクト 2 について、KPI（重要業績評価指標）とプロジェクトとして取り組む事業が直接的でないと感じる。例えば、新規就農者数と 6 次産業化などこの辺をもう少し考えてみてはどうか。⇒(事務局) 見直し

を検討したい。

カ. (委員) 土づくりセンター整備事業について、富岡座談会で出た話になるが、川にある葦を利用した堆肥を検討してはどうか。実際に葦を堆肥にしてお米づくりをしている事例がある。一定規模の広さがないとできないみたいであるが検討してみはどうか。また、まきステーションでも廃材が出るので活用できないか。⇒ (事務局) 植物系の活用を前提として、検討していた経緯がある。現状の状況について担当課へ確認したい。

(3)その他

松野町高齢者外出支援実証事業について、事務局より参考資料 11 頁を基に事業概要及び実績を説明し、次のとおり委員から意見が述べられた。

ア. (委員) (診療所等から) 離れている地区の距離も考慮してほしい。⇒ (事務局) 参考にさせていただく。

イ. (委員) ご近所に周知してもよいか。1 世帯に一人しか交付されないのか⇒ (事務局) 周知していただくと助かる。世帯に縛りはなく、対象となる高齢者がご夫婦でいた場合、二人とも申請すればタクシー利用券を交付できる。